資料６

「北海道におけるまん延防止等重点措置（改定）（道案）」等に対する主な意見

１　有識者・専門家の意見

１－①
新規感染者の減少がみられるとはいえ、高齢者の感染が増加している。
このことは、従来より、医療への負荷が増すことにつながり、今回の措置の延長はやむを得ないと考える。高齢者施設を含めた高齢者へのワクチン接種の迅速化をお願いする。

１－②
道案に異論なし。
医療や保育・高齢者施設では、集団感染を前提とした施設運営と事業継続が求められており、基本的な感染対策の徹底はもちろん、医療機関や福祉施設への直接的な感染対策支援事業を引き続き強化していただきたい。

１－③
道案に賛成する。
今回の感染状況を見ると、学校での感染から、家族への感染と広めているなどの事例が多いように見られるので、感染が広がっている学校においては、学級閉鎖という対応ではなく、思い切って学校全体を臨休にするなどの対応が必要なのではないか。1週間、全校臨時休業にした学校があり、その後は、落ち着いているということを聞いた。中学校は高校入試もあることから、そうした思い切った対応はできないかもしれないが、状況にあった思い切った対応がとれる体制を期待する。

１－④
検査の陽性率だが、特に札幌市が高過ぎるので、新規感染者数の増減はあまり参考にならないと思う。ワクチン接種の加速、特に札幌市の接種の加速をお願いする。

２　市町村・関係団体の意見

２－①
これまでのまん延防止等重点措置からの経過を踏まえ、より効果的な施策の見直しを進め、追加の施策を躊躇無く実行に移し、早期収束を目指していただきたい。
クラスターが発生している業態、施設等に対しての更なる注意喚起や対策の追加等、納得感のある施策を期待したい。
飲み薬の普及加速や自治体に対するワクチン3回目接種の更なる加速について、国に対し強く要請をお願いしたい。